

「骨髄異形成症候群におけるLuspaterceptの有効性と奏効予測因子の検討」

へご協力をお願い

ー2024年5月20日～2025年3月31日までの間に当科においてLuspatercept（商品名レプロシル）治療を実施された方へー

研究機関名 公立学校共済組合中国中央病院 血液内科
責任研究者 黒井 大雅

1. 研究の目的と意義

Luspatercept（商品名レプロシル）は、低リスク骨髄異形成症候群（MDS）患者における新たな治療選択肢として注目されていますが、日本人 MDS 患者における実臨床下での有効性に関する報告は依然として限られています。当院における Luspatercept 使用症例の治療効果を検討するとともに、奏効予測因子を探索することを目的とし、今後の診療へ役立てたいと考えます。

2. 被験者が被る利益・不利益

この研究に参加することによる直接的な利益はありません。また、不利益もありません。診療録から得られたご自身の個人情報個人情報保護法に基づき厳重に管理します。

3. 研究の方法

1) 研究対象者：

2024年5月20日～2025年3月31日までの間に当科においてLuspatercept（商品名レプロシル）治療を行った患者。

2) 研究期間：

倫理委員会承認後から2026年10月31日

3) 研究方法：

当科においてLuspatercept（商品名レプロシル）を実施した患者さんの診療情報をもとに、研究対象者背景・血液検査・治療効果などを調査します。

4) 調査票等：

研究資料にはカルテから必要な情報を抽出し使用させていただきますが、ご自身の個人情報は削除、匿名化され、情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保護：

調査情報は研究責任者が厳重に取り扱います。電子情報は、パスワード等で制御されたインターネットに接続されていないコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文等にて発表する予定です。

この研究に参加を希望されない方やご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

公立学校共済組合中国中央病院 血液内科 黒井 大雅

電話：084-970-2121(代) 平日9時～17時

